

令和3年度予算見積調書

課室名：産業支援課
 担当名：経営革新支援担当
 内線：3903 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業
B24	課題解決型企業間連携支援事業		一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	中小企業イノベーション支援事業費
事業期間	令和元年度～ 令和3年度	根拠法令	中小企業基本法、県中小企業振興基本条例		宣言項目	08 稼ぐ力の向上	SDGsゴール 8, 9, 12
					分野施策	040832 変化に向き合う中小企業と小規模事業者の支援	SDGsターゲット 8-1, 8-2, 8-3, 9-2,
1 事業概要			5 事業説明				
<p>AIやIoTの進展、大企業を中心とした企業間連携の進展、生産年齢人口の減少など社会が大きく変わる中で、本県経済の活力を維持するために、県内中小企業の稼ぐ力の向上を図ることが必要である。</p> <p>そこで、県内企業が連携して新製品等の開発に取り組むことにより、意欲ある県内企業がお互いの強みを発揮して課題を解決するための取組を支援する。</p> <p>(1) 課題解決型企業間連携支援事業 11,959千円</p>			<p>(1) 事業内容 県産業振興公社に設置するコーディネーターを中心として企業間交流を実施するとともに、コーディネーター及び専門家派遣による研究開発支援を通じて、企業同士の連携による新製品開発等及び販路開拓を支援する。</p> <p>(2) 事業計画 ア コーディネーターによる支援及び販路開拓支援 ・企業間連携グループの定期的な勉強会開催支援、研究開発支援、専門家派遣による技術支援及び開発した新製品等の販路開拓支援</p> <p>(3) 事業効果 ・企業間連携グループの試作品開発等を支援することにより、意欲ある県内企業がお互いの強みを発揮して課題解決を図り、稼ぐ力の向上が図られる。 ・企業間連携の促進で新たな取引関係の形成や、専門家の技術支援による企業の生産性・技術力の向上が図られる。 ・交流会の実施により下記の6グループが組成された。(R2.3月末時点) (グループ1) テーマ：潜熱蓄熱材を活用した暑熱対策&温暖化防止に貢献する「クールシステム」の開発 参加企業：12社 アドバイザー：2大学 (グループ2) テーマ：油分流出を最小化する「新型グリース阻集器」の開発 参加企業：11社 アドバイザー：1大学 (グループ3) テーマ：危機対応型(山崩れ・避難誘導灯)「微振動エネルギー変換・通信システム」の開発 参加企業：9社 アドバイザー：1大学 (グループ4) テーマ：耐震性、耐風圧性能を向上する「繊維補強セメント板施工システム」の開発 参加企業：6社 (グループ5) テーマ：給湯・暖房施設等の熱利用に活用する「AI省電力ワイヤレス故障予知診断システム」の開発 参加企業：15社 アドバイザー：2大学 (グループ6) テーマ：ローリングストックにも利用可能な一食分簡便調理ごはんセットの開発 参加企業：3社 アドバイザー：1大学、埼玉県産業技術総合センター北部研究所(予定)</p> <p>・グループ1、2は令和2年度に販路開拓支援、グループ3～6はR2年度中に試作品開発が完了する見込みである。 ・令和3年度は、グループ3～6を中心に販路開拓支援を行う。グループ1、2に対しても、継続した支援を行う。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ・企業間連携により各企業の強みを発揮できるとともに、必要に応じて大学・研究機関とも連携しながら実施する。</p>				
2 事業主体及び負担区分 (国10/10) 公社0							
3 地方財政措置の状況 なし							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円							
			財 源 内 訳				
予算額		国庫支出金					一般財源 前年との 対比
決定額	11,959	11,959					0 △2,989
前年額	14,948						14,948